

## 校長通信

# 『意志のあるところに道は開ける』 NO.4

Where there is a will, there is a way.

令和4年12月5日  
校長 馬場 智生

本格的な冬の到来を迎え、今年もあっという間に最後の月となりました。

2学期は最も長い学期で、学校行事も多いことから充実感の得られる期間であると思います。その機会に「皆さんにはできるだけ多くの体験をしてほしい。」そうした思いで今年は文化祭を実施しました。

◆深高祭 9月10日・11日



3年ぶりの開催ということもあり、これまで経験できなかった3年生は苦労も多くあったようです。手探り状態の中、試行錯誤を繰り返しながら最後まで妥協せずに制作の準備に取り組みました。その甲斐あって両日とも大盛況に終わり、参加していた中学生から「この学校の先輩と一緒に高校生活を送りたいので受験したいです。」とそのような嬉しい言葉をもらいました。たくさんの笑顔に溢れた「深高祭」は皆さんが創り上げたものです。そうした達成感や成就感を存分に味わって下さい。テーマである「やれないじゃない、やるんだ」その気概を十分感じられた文化祭でした。

◆11月16日から18日（1年英語合宿）

1年生外国語コースの生徒が山梨県で英語合宿を行いました。

3日間外国人講師や留学生とともに英語だけで生活することで、コミュニケーション力を高め、聞く力、話す力、表現する力を鍛え、プレゼンテーションまで出来るようになりました。

◆修学旅行（2年生） 11月21日から23日広島県・大阪府



左の写真は被爆体験の講話の様子です。平和記念資料館では被爆者の遺品、被爆の惨状を示す写真や資料などが展示され、皆一様に真剣な眼差しで見っていました。歴史に向き合う真摯な姿が見られ、平和を祈るその思いはしっかりと未来へ継承されていくだろうと感じました。

2日目は待望のUSJへ、そして最終日は大阪の市街地と大阪城などを観光して、各自思い思いの楽しい時間を満喫しました。

◆生徒の活躍



橋本杏音さん

鈴木ひなさん

後藤田眞子さん

岩崎心優さん

共同作品

東京都高等学校文化祭書道展において、2-6橋本杏音さんが見事東京都教育委員会賞に輝き、来年度の全国大会出場を決めました。また2-6鈴木ひなさん、3-1後藤田眞子さんは優秀賞、2-5岩崎心優さんが奨励賞を受賞しました。団体共同制作では残念ながら2連覇とはなりませんでしたが、それでも見事準優勝を勝ち取りました。今年は何より初の全国大会出場を目指し、書道部一丸となって1年間切磋琢磨しながら技術を高めてきました。念願の全国大会出場を決めた橋本さんは、「とにかく嬉しいです。全国大会はとても高いレベルですが、全力で作品を作りたい。」と抱負を語っていました。書道部の皆さん、おめでとうございます。あっぱれです。

★3年生の皆さんへ

受験は自分の人生を切り拓く大きなチャンスです。そして受験は自分との勝負でもあります。「合格」という喜びを勝ち取るために最善を尽くしてください。

教職員一同、応援しています。